

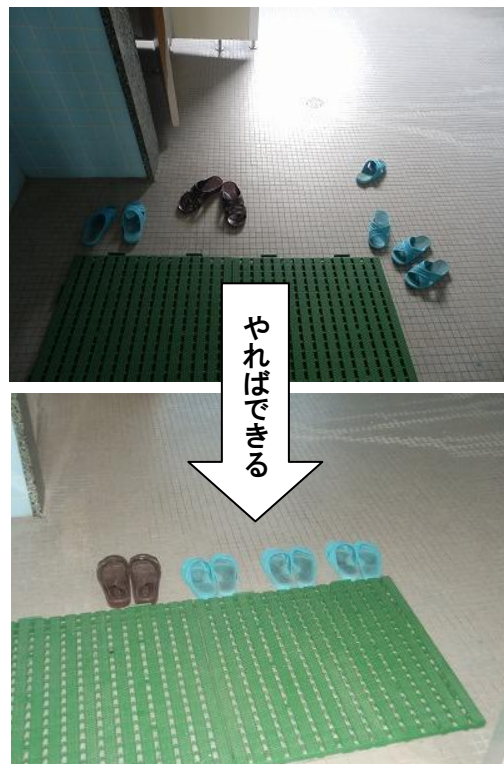
今を未来に

次に使う人のことを考えて動ける人に

右の写真を見て下さい。これが2週間前、子どもたちが帰ったあとのトイレのスリッパの様子です。写真を撮っていて、何だか悲しくなってきました。次に使う人のことを考えて動けない人も悲しくなり、この様子に気づいて揃えなおそうとする人がいないことにも悲しくなりました。

2週間前、この写真をトイレ入口に掲示しました。自分たちで気づいてほしいと思ったからです。でも、すぐには変わりませんでした。揃えてくれる子より脱ぎ捨てていく子が多いからです。でも、これは昨日の帰りの写真です。揃えてくれる子の方が脱ぎ捨てる子より多くなったからか、最後の人が揃えてくれたのか、それはわかりませんが、何だかホッとしました。

こんなことが、みんなでできる学校にしていきたいと思っています。お家ではトイレのスリッパがない家庭も増えていると思います。そのかわりに玄関での様子をみて、同じように声をかけてあげてください。お家の方では「自分のためにきちんと靴をそろえよう。」となりますね。



もう一度考えよう、けがのこと

9月1日から10月1日までの間にけがをした人の様子を養護の木津先生が資料にしてまとめてくれました。その数は、150人で、内46人はおうちの人に「できればお医者さんに行ってもらいたい。」と、お願いをしました。実際にお医者さんに行っていた人は、学校職員が連れて行かせていただいた人を入れると15人（運動場・体育館6人、教室などの中でのけが8人、その他1人）でした。また、場所として運動場36件・体育館12件に対し、教室42件・特別教室7件で、外と中は半々でした。通学路でのけが13件が特徴的でした。子どもたちが多いと思っている廊下は4件と少なめでした。

子どものけがはもちろん気を付けていても起こることがあります。ただ、私（校長）の前任校（児童数は本校の3分の2程度）では、月に3人程度医者に連れて行くと「今月は多いね。落ち着いて行動するように話しましょう。」と言っていたので、どうしたら子どもたち自身がけがをしない・友だちにけがをさせない、そのことが友だちを大切にする気持ちにつながると気づいてくれるかと、ずっと悩んでいます。確か、1学期の総会の時にもけがが多いことを話させてもらったかと思いますが、その時は学級指導の効果があり、以後は落ち着いていました。しかし、9月中旬あたりから徐々にけがをする人が増えだし、多い日には3人の子に医者に行ってもらったこともありました。

そこで、今回もう一度子どもたちに「なぜ、保々小学校はこんなにもけがが多いのか」を考えてもらい、先生方の意見も入れて、次のようにまとめました。

＜なぜ、こんなにけがが多いのか＞

- ・やられたら言葉で返さずに暴力でやりかえしている。言葉より先に手が出る。
 - ・けんかが多い。けんかで手が出ることが多い。なぐりあいのけんかをしてしまう。
 - ・子ども同士のトラブルを当事者同士で解決する方法しか取らず、みんなで話し合っていない。
 - ・体が大きくなれば相手にけがをさせてしまうことがあると気づいていない。気づいていても止められない。
 - ・ちょっかいを出している。「そのへんにしときなよ。」「そのうちけがをするよ!」と言える人が少ない。
 - ・注意されても聞かない態度の子が多い。「ごめん」と言えない、言わない。
 - ・肩を組んで歩いたりする。体の接触が必要のないところで多い。
 - ・ルールを守らない人が多い。廊下や教室を走り回っている。
 - ・上靴をきちんとはけていない。本人に聞くと「靴が小さいから」と言うが、そこで話が終わっている。
 - ・下駄箱から廊下のあたりのけがが多い。(でも、実際は多くありません)
 - ・無茶をする人が多い。やる前に考えていない。
 - ・掃除道具の使い方が間違っている。
 - ・よく外で遊ぶから多い。体を動かして遊ぶのが好き。
 - ・外で遊ぶときに夢中になりすぎて、周りが見えない。(ぶつかってけがは3件しかない。)
- (平成に入って児童数が600名を越える時もあったのですが、こんなにも多くなかったことと、場所が一番多いのは教室であることを伝えました。外遊びも多いわけではありません。)
- ・子どもに慌てさせる原因を先生も作っている。時間通りに授業を始め、時間通りに授業を終わることも大切。

＜どうすれば、けがが減らせられるか＞

- ・学年が進む中で、自分の気持ちを言葉で伝えることですっきりできるということを子どもたちにわかってもらいたいし、身に付けてほしい。
- ・ちょっと考えて行動する。見通しを持って行動する。
- ・「もしかしたら」と考えて行動する。
- ・逆に運動場でもっと遊び、けがをしない体を作る。体育の時に体づくり運動を経験させていく。
- ・給食ごと掃除の時間にけがをする子が多いので、来年度は日課表を見直し、休み時間の使い方を全校で考えていく。(遊ぶときは遊ぶ、トイレ休憩・お茶タイム・移動のための休み時間を揃える。)
- ・休み時間を確保するために、自分たちが授業の準備を事前にする。
- ・先生たちも授業の延長がないようにして、休み時間を確保できるように努力する。

みんなで考え合ったことを、実行していきたいです。